

JIS

紙及び板紙－異物の評価方法

JIS P 8145 : 2011

(JAPAN TAPPI/JSA)

平成 23 年 3 月 22 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 紙・パルプ技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	尾 鍋 史 彦	東京大学名誉教授
(委員)	江 前 敏 晴	東京大学
	大 場 悟	全国クラフト紙袋工業組合
	熊 谷 健	熊谷理機工業株式会社
	桜 田 裕 之	日本大昭和板紙株式会社
	佐 藤 達 也	三菱製紙株式会社
	鈴 木 由紀子	王子製紙株式会社
	関 順 子	日本製紙株式会社
	外 口 裕 章	株式会社東洋精機製作所
	中 川 好 明	日本製紙連合会
	中 村 亜希子	株式会社日本紙パルプ研究所
	生 原 道 夫	大日本印刷株式会社
	浜 村 政 博	日本紙パック株式会社
	広 岡 克 己	株式会社小学館
	星 野 隆 平	北越紀州製紙株式会社
	宮 西 孝 則	紙パルプ技術協会
	若 松 操	レンゴー株式会社

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 51.3.1 改正：平成 23.3.22

官 報 公 示：平成 23.3.22

原 案 作 成 者：紙パルプ技術協会

(〒104-8139 東京都中央区銀座 3-9-11 紙パルプ会館 TEL 03-3248-4841)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：紙・パルプ技術専門委員会 (委員長 尾鍋 史彦)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 原理	2
5 評価方法の種類	2
6 ISO 目視法	2
6.1 装置	2
6.2 サンプルの調製	2
6.3 操作	3
6.4 結果の表し方	3
6.5 精度	4
7 目視法	4
7.1 装置	4
7.2 試験用紙の調製	4
7.3 操作	4
7.4 計算	5
8 報告書	5
附属書 A (規定) ISO 異物比較チャート	6
附属書 B (規定) 計測器による方法	7
附属書 JA (規定) 目視法異物比較チャート	9
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	10
解 説	12

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、紙パルプ技術協会（JAPAN TAPPI）及び財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS P 8145:1976** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

紙及び板紙－異物の評価方法

Paper and board—Estimation of contraries

序文

この規格は、1999年に第1版として発行された **ISO 15755** を基とし、我が国で異物の評価に広く利用されている目視法も選択できるように、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JB** に示す。

1 適用範囲

この規格は、紙及び板紙の目に見える異物を反射光によって評価する方法について規定する。この目視検査は、ほとんどの種類の紙及び板紙に適用できる。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 15755:1999, Paper and board—Estimation of contraries (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1**に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS P 8110 紙及び板紙－平均品質を測定するためのサンプリング方法

注記 対応国際規格：**ISO 186**, Paper and board—Sampling to determine average quality (IDT)

JIS P 8208 パルプ－きょう雑物測定方法

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

3.1

シート (sheet)

個装、ベール、又は巻取りから採取した、1枚の紙又は板紙。

3.2

試験片 (test piece)

サンプル又は試験用紙の検査する領域。